

## 人権に関するメッセージを紹介します

### ネルソン・マンデラ (1918~2013)

南アフリカで反アパルトヘイト運動に取り組む。1962年に逮捕。国家反逆罪終身刑となり、28年間収監され、1990年に釈放される。1993年にノーベル平和賞を受賞。1994年に大統領に就任。1999年に政治の世界から引退。2018年は、ネルソン・マンデラの生誕100年目にあたります。

生まれたときから  
肌の色や育ち、宗教で他人を憎む人などいない。  
人は憎むことを学ぶのだ。  
もし憎しみを学べるのなら、  
愛を教えることもできる。  
愛は、憎しみに比べ、より自然に人間の心にとどく。

### マザー・テレサ (1910~1997)

カトリック教会の修道女。インドのコルカタ（カルカッタ）で始まった彼女の全ての貧しい人々のための活動は、後進の修道女たちによって全世界に広められている。1979年にノーベル平和賞受賞。

愛の反対は憎しみではなく無関心です。

### マハトマ・ガンジー (1869~1948)

インドの弁護士、宗教家、政治指導者。インド独立の父と称される。

他人に変わって欲しければ、自ら率先して変化の  
原動力となるべきだ。

### アンネ・フランク (1929~1945)

「アンネの日記」の著者、ユダヤ系ドイツ人の少女。1942年6月、アンネの13歳の誕生日に父からサイン帳を贈られ、アンネはこのサイン帳を日記帳として、最初の日記をつける。ドイツの迫害を逃れるために、アムステルダムで隠れ家生活（1942年7月~1944年8月）を送るが、その間も日記を書き続けた。ただ一人戦後まで生きのびたアンネの父は、戦争と差別のない世界になってほしいというアンネの思いを全世界に伝えるために、アンネの日記を出版し、60以上の言語に翻訳され、世界的ベストセラーとなる。

私たちは皆、幸せになることを目的に生きています。  
私たちの人生は一人ひとり違うけれど、されど皆同じ  
なのです。



自然と笑顔があふれる  
まち。それは、一人ひとりの  
人権が大切にされ、  
明るく住みよいまちが  
できたときです。



「グーパーゲーム」で笑顔になって、「みかんの花咲く丘」や「バラが咲いた」などをみんなで歌いました。歌の合間には、歌にまつわるエピソードを紹介したり、人権のまちづくりについての話をしたりして、最後に「故郷」を歌いました。  
(新開区老人会での出前人権歌声喫茶)

### 出前人権歌声喫茶

人権担当の指導員2人が、地域のみなさんの集まりなどにおじゃまして、アコーディオン、ギター、ハーモニカの伴奏で、懐かしい歌や童謡などをみなさんに歌っていただきます。歌詞の意味や人権エピソードなどのお話をしながら、お互いに支え合い、人と人との豊かなつながりのある、ふるさとづくり（人権のまちづくり）について一緒に学びあいます。

## CONTENTS

- 第11回市人権教育研究大会を開催しました ..... 2~3
- 人権に関するメッセージを紹介します ..... 4

# Vol.12

発行日2018(平成30)年10月